

課題名：医療データベースを用いた 90 歳以上の超高齢心不全患者に着目した
左室駆出率別の年次動向実態調査

◆研究の目的と概要◆

本研究の目的は、全国多施設データベースを用いて、2017 年から 2022 年までの初回入院心不全患者における左室駆出率（LVEF）分類別および年齢層別（特に 90 歳以上の超高齢者）に関する患者動向の年次推移を明らかにすることです。また、超高齢心不全群の病型分布、併存症の特徴、治療実態や臨床転帰の特徴を包括的に解析し、現行診療体制や今後の予防・管理戦略の基盤となる疫学的知見を提供することを目指しています。

◆対象となる患者さん◆

本研究は匿名化データベースを用いる研究です（個人は特定できない状況で研究を行います）。

2017 年 1 月から、2022 年 12 月までの間に疫学調査を目的とした【VHJ データベース】に情報が登録されている患者さんが対象となっています。

◆研究に使用される情報・試料◆

患者背景（年齢、性別、BMI）、併存疾患（高血圧、糖尿病、心房細動、虚血性心疾患、COPD 等）、入院転帰（死亡、再入院、在院日数）、主要心不全治療薬の使用状況

※その他、データセットに含まれる情報はHP参照ください

◆研究方法◆

本研究では、VHJ 社が収集している医療機関の電子カルテデータベースの情報をを用いて実施します。このデータベース内の情報には、当院の患者さんの情報を含むことがあります。データベース内に登録されている情報の中から、上記に示す、研究に使用される項目を取得し、本研究の目的を明らかにするための解析を行います。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は含まれません。
 - * 利用する医療データベースから提供される患者さんのデータには、氏名や住所やカルテ ID など、患者さんを特定することができる情報は含まれず、当院のカルテ情報とも連結することが不可能な状態で提供されます。そのため、本研究の対象となる可能性

がある場合で、かつ、研究への参加拒否のご意向がある場合においても、その患者さんの情報を特定することは困難であり、ご意向に沿うことが不可能であることをご了承ください。

※ 本研究に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

循環器内科 研究責任者 阿部 充

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@へ変換してください）

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- ・研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法